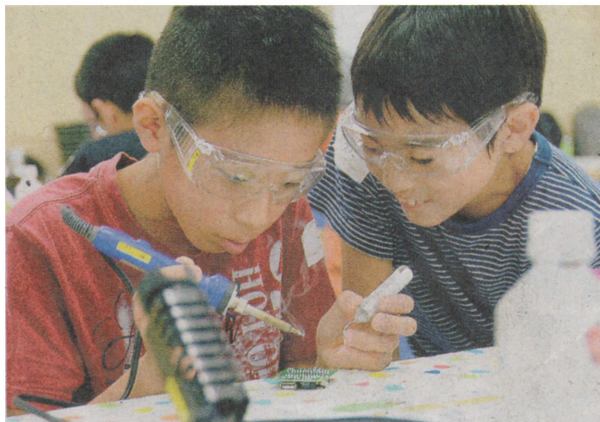


僕だけのゲームできた

宇城市でプログラミング教室

コンピューターを基盤にはんだ付けする
参加者＝宇城市



力。子どもたちはプログラミング専用パソコン「イチゴジャム」を基盤にはんだ付けして組み立て、モニターとキーボードをつないだ。

「川下り」ゲームの基本プログラムを人力後、コードを書き換えて障害物を設定し、時間を計測できるようにするなど工夫。同大起業部の学生らからアドバイスをもらい、真剣な表情でキーボードをたたいていた。

豊野小6年の渡邊悠太郎君は「はんだ付けが難しかったけど、ゲームを作る側になった分、プレーした時の達成感があって」と満足そうだった。

(内田秀夫)

「宇城市プログラミング教室」が9月29日、同市小川町の市ビジネスサポートセンターであり、小学生23人がオリジナルゲームづくりを体験した。市と崇城大が、IT技術の基礎となるプログラミングに触れてもらうと企画した。IT企業のさくらインターネット(大阪)が協